

老人看護専門看護師の立場 —推進するための戦略等—

猪口里永子[†]

IRYO Vol. 77 No. 3 (194-197) 2023

要 旨

国立長寿医療研究センター（当院）において意思決定支援ならびにアドバンスケアプランニング（ACP）に関し、エンドオブライフケアチーム（EOLケアチーム）とEOLケアリンクナース会（リンクナース会）が活動している。EOLケアチームは、がんに加え、非がん疾患や加齢や認知症による判断力低下・フレイルの患者を対象に苦痛緩和や意思決定支援を実践する多職種チームである。現在、筆者が所属している認知症対応病棟では、看護カンファレンスやデスカンファレンスの実施、院内の専門職種との連携や調整役、看護職員の教育に携わっている。デスカンファレンスを行い事例を振り返り、学びや次の事例に活かしたいことの共有を積み重ねることで本人や家族の意思決定支援やEOLケア、患者・家族を支える力が育成され、患者自身の願いや想いを叶えることにつながると考える。しかし、個々人や各職種間の価値観の違いによる対立、短い在院日数の中での患者が望む意思を確認するための時間の少なさ、認知症の人の意思を確認する看護職員のスキルの差など、ACP活動がスムーズに進まない現状がある。これらの問題を解決するには入院前、入院中、退院後（在宅）も含めた切れ目のない支援を提供し、患者が望む生活を継続できるシステムの構築、患者・家族を支え続けられる医療従事者の育成が重要である。

これまでの活動を通して、老人看護専門看護師として果たすべき役割、課題解決に向けた提案、今後の展望を述べる。

キーワード エンドオブライフケア、意思決定支援、老人看護専門看護師

当院の意思決定支援に関わる チームと活動内容

1. 当院の紹介

国立長寿医療研究センター（当院）の理念は「高齢者の心と体の自立の促進、健康長寿社会の構築への貢献」である。当院はベッド数301床、看護単位

は7病棟である。急性期一般病棟が5病棟、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟が各1病棟である（シンポジウム発表時）。

2. エンドオブライフケアチーム活動

当院には意思決定支援に関わる多職種チームとしてエンドオブライフケアチーム（EOLケアチーム）がある。2011年開設当時、医師と看護師、薬剤師に

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 看護部 [†]看護師

著者連絡先：猪口里永子 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 〒474-8511 愛知県大府市森岡町7-430

e-mail : inokuchi@ncgg.go.jp

(2022年3月28日受付, 2023年2月10日受理)

Position of Certified Nurse Specialist in Gerontological Nursing ; Strategies for Promotion, etc.

Rieko Inokuchi, National Center for Geriatrics and Gerontology

(Received Mar. 28, 2022, Accepted Feb. 2, 2023)

Key Words : end of life care, decision-making support, certified nurse specialist in gerontological nursing : GCNS